

令和5年6月5日

(一社)日本応用糖質科学会
会員の皆様

(一社)日本応用糖質科学会
会長 西尾 俊幸

新基金設立に関する報告

この度、日本応用糖質科学会に新基金を設立いたしましたので、会員の皆様にご報告申し上げます。

ここでは、新基金設立の経緯から説明いたします。

昨年（令和4年）の70周年記念大会にて、貝沼圭二先生から当学会執行部に「新しい基金の設立に関するご提案」をいただきました。その目的は、「新しい基金を設立し、基礎研究の成果を技術開発と産業振興へとつなげることに多大な貢献をされた方に本基金から特別な賞を与える」というものです。社会実装研究に対する当学会の最高賞という位置付けです。技術開発賞の上位賞の位置付けになる点で、二國賞とは異なるかと思えます。

なお、受賞者は、学会内だけでなく国内外の方を広く対象とします。

新基金設立について3月30日開催の定期理事会で話し合った結果、理事会として本件を推進して行くことが決まり、ワーキンググループ(WG)を作って本基金に関する運営方針などを決めてもらうことになりました。

その後、「新基金に関する取り纏め案」が4月26日にWGから提出されたので、臨時のメール理事会を開催して本取り纏め案について検討したところ、理事会での了承に至りました。

本学会に新基金を設立し新規事業を行うためには、定款への追記が必要となります。したがって、本件は評議員会での承認事項となります。

そこで、5月25日に臨時の評議員会をリモートで開催し、「新基金設立の経緯」と「WGの新基金に関する取り纏め案」について説明し、本件について評議員の皆様にご審議いただきました。

その結果、全員一致で評議員会から新基金設立の承認を得ることができました。本基金による賞の名称も「貝沼賞」に決まりました。

なお、新基金の設立に当たって、貝沼圭二先生から多額の寄付金を頂戴いたしました。

臨時評議員会を開催してまで、何故このように新基金の設立を急いでいるかと申しますと、来年（令和6年）の大会で第1回の貝沼賞受賞者を出したいと思っており、そのためには、新基金設立と新表彰制度についてHP、学会誌、支部連絡、プレスリリースなどにより、なるべく早く会員を含めた関係者の皆様に広く認知していただく必要があるためです（本年度大会中の会員集会が初めての告知では間に合いません）。

また、なぜ来年度大会での受賞を目指すのかと申しますと、節目となる75周年記念大会での受賞機会まで待っていると、「新基金による新賞設立」に関する意義やその存在に関する意識が薄れてしまうからです。

もちろん、募集しても受賞候補者の推薦が無い場合や、また、候補者が推薦されても学会賞受賞者選考委員会で選考されない場合もありますが、その時は仕方がないと思います。

以上が新基金（貝沼基金）設立の経緯となります。

日本応用糖質科学会の貝沼基金設立に関し、会員お皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

末筆になりますが、会員の皆様のご健康とご活躍を心よりお祈りいたします。

以上